

核兵器廃絶・放射能被害根絶・原子力空母いらない！

神奈川県原水協通信

発行：原水爆禁止神奈川県協議会
横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A
Tel 045 (231) 6284 Fax 045 (261) 6577
Mail- kana-gensuikyo@gol.com
発行日：2012.11.15 No. 3 1

川崎区で初の 第1回平和のための原爆展

11月9日から14日までの6日間「第1回川崎区平和のための原爆展」が開催されました。この「原爆展」は、様々な団体・個人が呼びかけ、実行委員会を結成し実施され、川崎市が後援しました。会場は、川崎市の教育文化会館ギャラリーを借り(無料)、原爆写真パネル、原爆事故写真や新聞記事、原爆絵本、原子力空母の関



係、平和の絵手紙などを展示しておこなわれました。この原爆展には、6日間で約200名が見に来ました。

川崎区初めての「原爆展」を実施し、「今年の教訓を来年に向け生かしさらに参加者を広げていきたい」と実行委員の方が述べていました。

6・9行動 in伊勢佐木町



禁止条約締結を訴える片野理事長

11月9日、定例の「原水協6・9行動」をおこないました。参加者は4人で少なかつたのですが、署名33筆、カンパ1200円、チラシ配布50枚でした。「私は被爆二世です。皆さんがこのように頑張ってくれて嬉しい」「私も会社にいたときは、このような街頭署名をやりましたよ。懐かしくて嬉しい」と言って、それぞれ署名してくれたり、財布の中から千円札を出しカンパを寄せたりする人がいました。足を止め、展示の原爆写真パネルをじっくりと見る通行人も。この日は全県各地で6・9行動が実施されました。

対話の広がる署名行動

平和・基地・国際連帯の要求がかけ 対県交渉おこなわれる！

あいつつする鈴木交渉団団長。
毎年おこなわれている
県民連絡会の対県交渉が



11月5日おこなわれました。この交渉には、県当局から10名、県民連絡会から県原水協、平和委員会、新婦人、労働組合など30名が参加し、基地問題、米兵犯罪と米軍事故、非核平和行政などで厳しい交渉がおこなわれました。

私たちが県に提出した要求は、基地県神奈川が抱える切実な5つの分野30項目です。1時間45分の交渉時間では時間が足りない交渉となりました。

横須賀基地問題では、巨大地震発生時の事故想定、原子力艦船の事故対策など、県の対応を質す厳しい質問に対し、米軍と日本政府の立場と回答をオウム返し回答し、神奈川県としての県民の命と安全に責任を負う回答はありませんでした。非核平和行政についても消極的な回答に終始。基地県神奈川の基地対策がないがしろになる危険をもつ基地対策課を国際基地課とする機構改革についても、善処を要求しました。

県原水協のホームページ 今年中開設に向け着々作成進む

「県原水協はホームページを開設し、もっとタイムリーに多くの人に情報を発信してほしい」という声に応え、現在、今年中の開設に向けピッチを上げ作成しているところです。

ホームページ開設には、一定のお金がかかります。現在「開設募金」をお願いしています。いくらでも結構です。多くの方々のご協力をお願いします。

11月15日現在の2つの署名到達

- ★核兵器全面禁止アピール署名
・・・156, 176筆
- ★原発ゼロ！原子力空母いらない署名
・・・24, 752筆

